

平成 25 年度 NPO 法人もったいない学会通常総会

日 時 2013 年 6 月 6 日 13 時 15 分から 14 時 15 分

場 所 東京大学山上会館大会議室

【総会資料】

■ 次第

1. 開会
2. 総会成立要件の確認
3. 会長挨拶
4. 議長の選出
5. 議題審議
 - (1) 第 1 号議案 平成 24 年度事業報告及び決算報告の件
 - (2) 第 2 号議案 平成 25 年度事業計画及び予算計画の件
 - (3) 第 3 号議案 役員(理事・監事)の選任の件
 - (4) 第 4 号議案 議事録署名人選任に関する件
6. 閉会

第1号議案 平成24年度事業報告及び決算報告の件

I. 平成24年度事業報告

(概況)

皆様のご支援、ご協力のもと、社会に貢献できる学会に発展させるべく、平成24年度も精力的に活動を行いました。

以下に活動状況の詳細をご報告いたします。

【参考：定款で定められて学会の目的は以下の通りです】

「この法人は、広く一般市民に“石油ピーク”を啓蒙し、石油を大切に使う方策を検討し、その知識、知恵を広く一般に広げることによって、心豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。」

1. 学会事業活動

1) シンポジウムの開催

主催シンポジウムを1回、共催シンポジウムを1回実施した。

1-1) 「もったいない学会仙台支部設立シンポジウム」

主催：NPO法人 もったいない学会

日時：2012年11月3日(土) 12:00-15:30

場所：東北工業大学(〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35-1)

【講演】

12:00～

【映画上映】

「幸せの経済学」

13:30～

【基調講演】「311後の日本のプランB」

『講演者』もったいない学会会長 石井 吉徳(東京大学名誉教授、元国立環境研究所所長)

14:30～15:30

学会員による講演予定

【参加者数】25名

1-2) 「日本人は日本列島でどう生きるか」

日時：2013年3月17日(日) 13:15 -17:00

場所：東京大学本郷キャンパス山上会館

主催：

NPO法人石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

社団法人日本工学アカデミー

【講演】

13:15 -13:45

あいさつ

「今なぜ日本列島論なのか」

石井吉徳 もったいない学会会長

13:45 -14:15

次世代へのメッセージビデオ上映

山本達也 日本工学アカデミー次世代へのメッセージフォーラム委員

14:15 -14:55

話題提供

「温泉エネルギーの利用拡大に向けて」

益子保 公益財団法人中央温泉研究所所長

14:55 -15:05

コメント

「日本列島の地熱エネルギーの利用拡大に向けて」田村八州夫 もったいない学会副会長

休憩 15:05 -15:20

15:20 -16:00

話題提供

「地域におけるこれからの企業経営」

松井清充 中小企業家同友会全国協議会専務幹事

16:00 -16:40

話題提供

「震災復興からの木材工場の復活」

小野寺邦夫 丸平木材株式会社代表取締役

16:40 -16:50

コメント

「日本列島の森林資源の課題」

安藤満 もったいない学会理

16:50 -17:00

まとめ

「日本人は日本列島でどう生きるか」

大久保泰邦 日本工学アカデミー次世代へのメッセージフォーラム代表

【参加者数】46名

2) サロンの開催

以下の4回のサロンを実施した。

第1回サロン

【日時】2012年5月14日(月) 14:00-17:00

【会場】東大本郷キャンパス山上会館

【講演】

14:00-14:05 (5分)

プログラム紹介ほか

14:05-14:35 (30分)

石井 吉徳 会長

「3・11、エネルギー、食料の視座」

14:35-15:35 (60分)

安藤 満 理事

「福島原発事故による放射性物質汚染と被爆影響についての考え方」

15:35-15:45 (10分) 休憩

15:45-16:45 (60分)

三ヶ田 均 理事

「エネルギー資源の生産ピークと「もったいない」の限界、新たな省エネという「資源」

16:45-17:00 (15分) 石井会長総括

【参加者数】26名

第2回サロン

【日時】2012年7月27日(金) 14:00-17:00

【会場】東大本郷キャンパス工学部11号館1階 講堂

【講演】

【第1部】

話題提供 14:00 - 15:30

タイトル:「ピークオイルと有色人種から見た世界の石油開発」

鈴木勝王 石油資源開発株式会社

タイトル:「地球温暖化は事実か? NASA/GISS 気温データベースに基づく分析」

小川克郎 名古屋大学名誉教授

【第2部】

討論 15:30 - 16:00

自己紹介 16:00 - 17:00

【参加者数】25名

第3回サロン

【日時】2012年9月26日(水) 15:00-17:15

【会場】東大本郷キャンパス工学部4号館3階 地球システム汎用室

【講演】

15:05-15:50 講演 I. 低エネルギー社会のイメージとスイス社会

大久保泰邦 もったいない学会理事
16:00-16:45 講演Ⅱ. 縮小の時代、地域を担うのは中小企業
松井清充 中小企業家同友会全国協議会専務幹事
16:45-17:15 (30分)
石井吉徳 もったいない学会長-総括
【参加者数】25名

第4回サロン

【日時】2012年12月11日(火)14:45-17:00
【会場】東京大学本郷キャンパス山上会館
【講演】
14:50-15:20 講演Ⅰ. 成長の呪縛、日本はどこへ行こうとしているのか
石井吉徳 もったいない学会長
15:20-15:50 講演Ⅱ. 低エネルギー社会のイメージと将来の日本
大久保泰邦 もったいない学会理事
16:15-16:45 講演Ⅲ. エネルギー制約下の世界経済と私たちの暮らし
大場紀章 株式会社テクノバ調査研究部研究員
【参加者数】28名

3) WEB 会誌発行

以下の論文3件、研究ノート1件を掲載した。

【論文】
エネルギー収支分析による社会の持続性評価
鎗谷 浩明・松島 潤
【論文】
福島原発事故による放射性物質汚染と被曝影響予測
安藤 満
【研究ノート】
低エネルギー社会のイメージとスイス社会
大久保 泰邦
【論文】
福島第一原子力発電所事故による放射線量の計測と分析
石川 宏

4) 部会・研究会活動

4-1) エネルギーの科学研究会

エネルギー収支比勉強会
日時：2012年12月14日(金)15-18時
場所：本郷キャンパス工学部4号館旧地球システム会議室
話題提供：
Shale Oil と Coal Bed Methane の現状
村山隆平氏、小寺保彦氏

4-2) 低エネルギー社会 WG

日本工学アカデミー連携し、次世代へのメッセージとしてビデオ作成を行った。この成果を学会ホームページに掲載するとともに、もったいない学会シンポジウム、日本工学アカデミーの総会で発表した。

4-3) 3.11 と JPI フォーラム

第3回フォーラム：4月27日
佐々木 淳：「土壌細菌発酵肥料」を用いた生態循環農業
田村八洲夫：どこにでもある地球熱利用の低エネルギー冬季ハウス栽培
鈴木 秀顕：コミュニティ活性化報告(第二報)
第4回フォーラム：6月22日
大久保泰邦：「ジュネーブで見たもの、スイス人が生み出した生きる道」
重村 光輝：「二宮尊徳にみる自給的な地域復興の仕法について」

石井会長：「顕在化する石油文明の矛盾と我々の立ち位置」
第5回フォーラム：8月20日
五十嵐敏郎：「石油文明終焉に備える、5つのダイエット」
山野辺浩平：「薬草による地域活性化」
第6回フォーラム：10月18日
安藤 満：「自然エネルギー利用（風力発電）に関するデンマークの実験と日本における課題」
西村一孝：「日本の森を元気にしよう-----森の駅推進協議会実践報告」
田村八洲夫：「3・11は有限地球低エネルギー社会への思想的転換点」
第7回フォーラム：2月14日（アドバンスコースとして実施始める）
石井会長：「エントロピー法則と経済プロセス」
田村八洲夫：「高エネルギー（メタハイ、シェールガス、宇宙太陽光発電）の正しい捉え方」
田村八洲夫：Redefining Progress社開発のGPI（Genuine Progress Indicator）の学習。

5) その他の啓蒙活動

5-1) コラムサイト（シフトム）

コラムサイト（シフトム）について、2012年度は合計32本の投稿があった。また、2012年度中にサイトを訪れた人の数は延べ「48548件」であり、「78794ページ」が閲覧された。そのうち新規訪問者の割合は、約72%であり、サイト開設以来の「固定客」に加えて、引き続き新規訪問者を獲得している。

来年度については、引き続き今年度同様に、適宜コラムの投稿を呼びかける共に、ソーシャルメディア等での広報活動を展開する。なお、投稿に際して特に制限を設けていないのが本コラムサイトの特徴であるが、やや長すぎる投稿、文章の推敲が不十分なまま行われている投稿が見受けられる。この点、ある程度の投稿ガイドラインを設けるべきか、理事会等で協議を行っていくこととする。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

- ・6回開催。

（平成24年5月14日、7月27日、9月26日、12月11日、平成25年1月9日、3月17日）

- ・適宜メール審議

※理事会議事録（メール審議含む）は学会HPで公開しております。

2) 総会

通常総会を1回開催した（平成24年5月14日）。

3. 会員の状況

会員の現況（平成25年3月31日現在）

※カッコ書きは前年度

正会員：145名（145名）

一般会員：143名（172名）

学生会員：4名（6名）

賛助会員：6名（6名）

計：298名（329名）

II. 平成24年度決算報告

下記資料を参照下さい。

- ・収支計算書（案）
- ・貸借対照表（案）
- ・財産目録（案）
- ・監査報告書

24年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

特定非営利活動法人

石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

(単位:円)

科 目	金	額
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入(入会金含む)		
会費収入	825,000	
2 事業収入		
(1) 教育・啓発事業収入	65630	
(2) その他事業収入		
3 補助金等収入		
地方公共団体補助金収入		
民間助成金収入		
4 寄付金収入		
5 その他収入		
利息収入	193	
任意団体からの繰入金		
その他の事業会計からの繰入		
経常収入合計		890,823
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1) 情報提供事業費	136,250	
(2) 教育・啓発事業	331,080	
事業費小計		467,330
2 管理費		
役員報酬	0	
給与手当	0	
振込手数料	7,770	
消耗品費	0	
事務委託料(事務局での通信・印刷費合)	217,512	
租税公課	0	
管理費小計		225,282
経常支出合計		692,612
経常収支差額		198,211
III その他資金収入の部		
1 固定資産売却収入		
その他の資金収入合計		
IV その他資金支出の部		
1 固定資産取得支出		
その他の資金支出合計		
当期収支差額		198,211
前期繰越収支差額		1,070,620
次期繰越収支差額		1,268,831
(正味財産増減の部)		
V 正味財産増加の部		
1 資産増加額		198,211
当期収支差額(再掲)		198,211
2 負債減少額		0
増加額合計		198,211
VI 正味財産減少の部		
1 資産減少額		0
当期収支差額(再掲)(マイナスの場合)		0
2 負債増加額		51,260
減少額合計		51,260
当期正味財産増加額(又は減少額)		146,951
前期繰越正味財産額		1,070,620
当期正味財産合計		1,217,571

(注記)備考の5を参照

(備考)

1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。

平成 24 年度

会計貸借対照表

平成25年 3月31日現在

特定非営利活動法人

石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	1,268,831	
未収入金		
.....		
流動資産合計		1,268,831
2 固定資産		
土地		
建物		
車両運搬具		
.....		
固定資産合計		0
資産合計		1,268,831
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	51,260	
未払金		
.....		
流動負債合計		51,260
2 固定負債		
長期借入金		
退職給与引当金		
.....		
固定負債合計		0
負債合計		51,260
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	1,070,620	
当期正味財産増減額	146,951	
正味財産合計		1,217,571
負債及び正味財産合計		1,217,571

平成24年度

会計財産目録

平成25年 3月31日現在

特定非営利活動法人

石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

科 目	金 額 (単位：円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金		
普通預金	1,268,831	
未収入金		
未収会費		
.....		
流 動 資 産 合 計	1,268,831	
2 固定資産		
土地		
建物		
車両運搬具		
.....		
固 定 資 産 合 計	0	
資 産 合 計		1,268,831
II 負債の部		
1 流動負債		
未払い金	51,260	
預り金		
短期借入金		
流 動 負 債 合 計	51,260	
2 固定負債		
長期借入金		
退職給与引当金		
.....		
固 定 負 債 合 計	0	
負 債 合 計		51,260
正 味 財 産		1,217,571

監査報告書

私は、定款に基づき、平成 24 年度の事業報告書、収支決算書の監査をした結果、いずれも適正かつ正確に執行されていたことを認めます。

2013 年 6 月 4 日

もったいない学会

監事 大久保 泰邦

(自書)

大久保 泰邦 印

監事 佐藤 裕久

(自書)

佐藤 裕久 印

第 2 号議案 平成 25 年度事業計画及び予算計画の件

平成 25 年度事業計画（案）

【方針】学会の発信力の強化や個別活動と並行して、理論面及び実践面でのノウハウを蓄積しながら、体系的な纏め・提言や具体的な活動組織との連携強化を進めてまいります。

1. 学会事業活動

1) シンポジウムの開催

平成 25 年度中にシンポジウムを 2 回程度開催する。地域での普及も重視した地方開催も予定しています。

2) サロンの開催

平成 25 年度中にサロンを 6 回程度開催する。

3) 学術及び活動報告大会の開催

会員の活動発表の場として、平成 25 年度中に 1 回程度開催する。内容案は至急検討中。

4) 出版事業

・WEB 会誌発行

「もったいない学会 WEB 学会誌」の編集・公開業務を行う。特集号を企画する等して論理深度を深める。

・啓蒙・教育を目的とした新規刊行物の作成・出版・販売として電子出版事業

4) 学会 WEB の発信力向上

調和性・戦略性を十分吟味することにより情報発信力の向上につとめ、信頼・支持される学会 WEB を構築する。学会 WEB、コラムサーバ等におけるコンテンツ内容・構成の工夫に努める。

5) 部会、WG、研究会活動

(a) エネルギーの科学研究会

日本工学アカデミーと連携して、注目を集めているエネルギーに関して専門家を招き、エネルギー収支比に関する勉強会を開催する。

(b) 低エネルギー社会 WG

次世代へのメッセージとなるビデオ作成、本の出版などの啓発活動を行う。

(c) 3.11 と JPI フォーラム

アドバンスコースとして継続実施している。

より質の高いフォーラムに改善する。

6) 表彰など

顕著な事業を行っている活動者・団体を顕彰する。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

平成 25 年度中に 6 回開催する。

2) 総会

通常総会を 1 回開催し、必要に応じて臨時総会を開催する。

平成 25 年度事業予算計画（案）

平成 25 年度 予算（案）		（単位：円）	
収入の部		支出の部	
項目	予算	項目	予算
会費収入	800,000	事業費	580,000
正・一般・学生会員	705,000	シンポ・サロン・講演会開催費	320,000
賛助会員	80,000	WEB サーバルレンタル費	150,000
正会員入会金	15,000	WEB 会誌編集費	10,000
		新規刊行物作成費	100,000
事業収入	50,000		
書籍販売・シンポジウム開催	50,000		
		管理費	270,000
		事務作業委託費(印刷・通信費含)	245,000
		振込手数料	10,000
		消耗品費	10,000
		租税公課	5,000
小計	850,000	小計	850,000
昨年度からの繰越金	1,217,571	予備費	1,217,571
収入合計	2,067,571	支出合計	2,067,571

第3号議案 役員（理事・監事）の選任の件

現在の役員体制は以下の通りです。

理事

石井 吉徳（会長）
大久保 泰邦（副会長）
田村 八洲夫（副会長）
芦田 讓
安藤 満
林 農
福田 正巳
旭岡 叡峻
小川 克郎
加藤 文子
早坂 房次
山本 達也
松島 潤

監事：

佐藤 裕久

【報告事項】

※1 大久保泰邦監事の理事への異動報告

大久保泰邦監事の海外赴任からの帰任に伴い、理事に異動させることが理事会（平成24年5月14日開催）にて審議され了承されましたことをご報告いたします。

※2 大久保泰邦理事ならびに田村八洲夫理事の副会長への選任の報告

平成25年1月9日開催の理事会にて、大久保泰邦理事ならびに田村八洲夫理事の副会長へ選任（理事による互選）されましたことをご報告いたします。

【審議事項】

学会の地方展開を活発化するため、次の2名の方を新たに理事に選任したいと思っておりますので、ご検討よろしくご願ひいたします。

(1) 鈴木 秀顕（すずき ひであき）氏

現在は、ノースアジア大学 経済学部 専任講師。

足尾町などでの地域活性化事業、SNSなどを継続的に進めて当学会に貢献してきた。

最近では、さらに仙台支部活動、電子出版活動にも意欲的である。

その行動力は、学会の理事としてふさわしいと認め、理事会として理事に推薦する。

(2) 辻村 琴美（つじむら ことみ）氏

現在は、新江州(株)循環型社会システム研究所課長 MOH 通信編集長。

滋賀県における精力的な地域活動はもったいない学会の理念とも相通ずるところがあり、その実績とご経験は学会への具体的な提言・助言となり、さらに大きな推進力となって貢献をして下さることと期待しています。

第 4 号議案 議事録署名人選任に関する件

定款第 4 章第 29 条（総会の議事録）により、議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人 2 人が、記名押印又は署名しなければならない、とあります。
議事録署名人について、議長より本日出席の正会員の 2 名を指名し、お諮りします。